

配置図



案内図

3	防水改修工事	8 シーリング	撤去既存シーリングの処理 事前調査等 ・行う(下記の変種で分析する) ・行わない 現場においてサンプルを採取し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示 採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示 分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う 調査範囲 ※今回改修工事範囲全て ・図示 調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認 施工範囲と工事監理区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法	4-3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事	1 既存モルタル塗りの撤去 2 ひび割れ部改修工法	・行う(※全面 ・図示の範囲) ・既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は3.欠損部改修工法による) ・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.4.2][4.4.5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧注入法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・手動式注入法</td><td>0.2以上～0.3以下</td><td>※50～100</td><td>※40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3超え～0.5以下</td><td>※100～200</td><td>※70</td></tr><tr><td>・機械式注入法</td><td>0.5超え～1.0以下</td><td>※150～250</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用及び建築補強用モルタル樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) ・ 検査(コア抜き) [4.3.4][4.4.5] ※行わない ・行う 抜き取り部の補修方法 ※充填工法(モルタル樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル) [4.3.7] ・ウレタン材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5][4.4.6] <table><tr><th>充填材料</th><th>種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シーリング材</td><td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td></tr><tr><td>・可とう性モルタル樹脂</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6][4.4.7] シール材料 ・パテ状モルタル樹脂 ・可とう性モルタル樹脂 改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等で丁寧に押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	樹脂注入工法	・	・	・	・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40	樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70	・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130	樹脂注入工法	・	・	・	充填材料	種別	備考	・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性モルタル樹脂	・	・	4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事	4 浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][4.5.4][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]											
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																											
※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70																																																																																																																																																																											
・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
充填材料	種別	備考																																																																																																																																																																												
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																												
・可とう性モルタル樹脂	・	・																																																																																																																																																																												
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
9 とい	材種 [3.8.2][表3.8.1] ・配管用鋼管 ※硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質塩化ビニル発泡3層管 鋼管製との防露 [3.8.3][表3.8.4] ※改修標準表3.8.4による たてどい受け金物の取付け ※図示 ・標準13.5.3(d)(2)による [3.8.3](13.5.3)	3 欠損部改修工法	・充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7][4.4.8] 充填材料 ※ポリマーセメントモルタル ・モルタル塗替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.9] 仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理 ※スチール製フックを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、スチール等を張る。 ・図示 既製目地材 ・適用する(形状 ※図示 ・) [4.2.2]	4-5 塗り仕上げ外壁改修工事	1 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.6.3][表4.6.2～表4.6.5] <table><tr><th>工法</th><th>処理範囲</th><th>下地ひび割れ部等の補修</th></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td>・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法</td></tr><tr><td>※高圧水洗工法</td><td>※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa</td><td>・</td></tr><tr><td>・塗膜はく離工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td>・</td></tr><tr><td>・水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体</td><td>・</td></tr></table> 2 下地調整 [4.2.2][4.6.3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル	工法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	※高圧水洗工法	※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa	・	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体	・	・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体	・	2 下地調整	※下地調整塗材 [4.2.2][4.6.3] ・ポリマーセメントモルタル	3 仕上げ塗材	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4][表4.2.5] <table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げの形状</th></tr><tr><td>・薄付け仕上げ塗材</td><td>※外装薄塗材E</td><td>※砂壁状 ・着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>・複層仕上げ塗材</td><td>・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・</td><td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う</td></tr></table> 防火材料 ・建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。 [4.2.2]	種類	呼び名	仕上げの形状	・薄付け仕上げ塗材	※外装薄塗材E	※砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・複層仕上げ塗材	・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う	4-6 タイル張り仕上げ外壁改修工事	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]																																																																																																												
工法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修																																																																																																																																																																												
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法																																																																																																																																																																												
※高圧水洗工法	※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa	・																																																																																																																																																																												
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体	・																																																																																																																																																																												
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体	・																																																																																																																																																																												
種類	呼び名	仕上げの形状																																																																																																																																																																												
・薄付け仕上げ塗材	※外装薄塗材E	※砂壁状 ・着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																												
・複層仕上げ塗材	・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																												
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
4	外壁改修工事共通事項	1 施工数量調査 [1.5.2] 2 外壁改修の保証等	下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承認を得て施工する。 調査範囲 仕上塗材仕上げの下地となる外壁、底等の躯体コンクリート面、既存モルタル、タイル等の面 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。 ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの剥離・剥落など欠陥部分を調査する。 コンクリートの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。 仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。 新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に表示する。 ※外壁改修工事(劣化状況調査、劣化部補修及び下地処理、シーリング、仕上塗材仕上げ)は、新潟県外壁補修工事業協同組合(以下、「組合員」という。)の施工とする。 ただし、やむを得ない場合は、劣化部補修を組合員以外の施工とすることができ、その場合は、組合員の施工指示による。 ※外壁改修工事について、受注者は新潟県外壁補修工事業協同組合と連名の保証書を提出する。 ※コンクリートブロック造の外壁は保証対象範囲外 <table><tr><th>種類</th><th>保証範囲</th><th>保証期間</th></tr><tr><td>防水型複層塗材E (JIS-A6909)</td><td>外壁下地・塗装面</td><td>10年</td></tr><tr><td>外装薄塗材E (JIS-A6909)</td><td>外壁下地のみ</td><td>10年</td></tr></table>	種類	保証範囲	保証期間	防水型複層塗材E (JIS-A6909)	外壁下地・塗装面	10年	外装薄塗材E (JIS-A6909)	外壁下地のみ	10年	4 浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事	4 浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]																			
種類	保証範囲	保証期間																																																																																																																																																																												
防水型複層塗材E (JIS-A6909)	外壁下地・塗装面	10年																																																																																																																																																																												
外装薄塗材E (JIS-A6909)	外壁下地のみ	10年																																																																																																																																																																												
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
4-1 外壁改修工事共通事項	2 外壁改修の保証等	4 浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	4-5 塗り仕上げ外壁改修工事	1 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.6.3][表4.6.2～表4.6.5] <table><tr><th>工法</th><th>処理範囲</th><th>下地ひび割れ部等の補修</th></tr><tr><td>・サンダー工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td>・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法</td></tr><tr><td>※高圧水洗工法</td><td>※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa</td><td>・</td></tr><tr><td>・塗膜はく離工法</td><td>※既存仕上げ面全体</td><td>・</td></tr><tr><td>・水洗い工法</td><td>※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体</td><td>・</td></tr></table> 2 下地調整 [4.2.2][4.6.3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル	工法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	※高圧水洗工法	※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa	・	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体	・	・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体	・	2 下地調整	※下地調整塗材 [4.2.2][4.6.3] ・ポリマーセメントモルタル	3 仕上げ塗材	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4][表4.2.5] <table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げの形状</th></tr><tr><td>・薄付け仕上げ塗材</td><td>※外装薄塗材E</td><td>※砂壁状 ・着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>・複層仕上げ塗材</td><td>・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・</td><td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う</td></tr></table> 防火材料 ・建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。 [4.2.2]	種類	呼び名	仕上げの形状	・薄付け仕上げ塗材	※外装薄塗材E	※砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・複層仕上げ塗材	・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う	4-6 タイル張り仕上げ外壁改修工事	4 浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
工法	処理範囲	下地ひび割れ部等の補修																																																																																																																																																																												
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法																																																																																																																																																																												
※高圧水洗工法	※既存外装薄塗材仕上げ面 30Mpa ※既存防水型複層塗材仕上げ面 15Mpa	・																																																																																																																																																																												
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体	・																																																																																																																																																																												
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体	・																																																																																																																																																																												
種類	呼び名	仕上げの形状																																																																																																																																																																												
・薄付け仕上げ塗材	※外装薄塗材E	※砂壁状 ・着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																												
・複層仕上げ塗材	・複層塗材OE ・複層塗材E ・複層塗材RE ※防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・ ・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ※凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 ・耐候形2種 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤形 樹脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 外観 ※つやあり ・つやなし ・メリカ 防水形の増塗材 ※行う																																																																																																																																																																												
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
4-2 コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修工事	2 欠損部改修工法	4 浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	4-3 モルタル塗り仕上げ外壁改修工事	4 浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合 [4.1.4][4.2.2][4.4.10～4.4.15][表4.4.3][表4.4.4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th>タイルの本数(本/㎡)</th><th>透入口の箇所数(箇所/㎡)</th><th>充填量</th><th>注入量</th></tr><tr><td>・フック・ピン部分注入法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>・</td><td>※25</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・フック・ピン部分全面注入法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td></tr><tr><td>・ポリマーセメントスリ注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量	・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20	・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	5 陶磁器質タイル張り	タイルの種類 [4.2.2][4.5.7][4.5.8] <table><tr><th>施工場所・用途</th><th>形状寸法(mm)</th><th>耐凍害性</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>ありなし</td><td>施釉無釉</td><td>ありなし</td><td>標準特注</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.2.2] 壁タイル張りの工法 [4.5.8][表4.5.3] 外装タイル ・密着張り ・タコ張り タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考	・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.1.4][4.5.16]																														
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
改修工法の種類	タイルの本数(本/㎡)	透入口の箇所数(箇所/㎡)	充填量	注入量																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分注入法	※16	※25	・	※25																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・フック・ピン部分全面注入法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																																										
・ポリマーセメントスリ注入工法	・	・	・	・																																																																																																																																																																										
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物	色	備考																																																																																																																																																																								
・	・	ありなし	施釉無釉	ありなし	標準特注	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
4	コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧注入法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・手動式注入法</td><td>0.2以上～0.3以下</td><td>※50～100</td><td>※40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3超え～0.5以下</td><td>※100～200</td><td>※70</td></tr><tr><td>・機械式注入法</td><td>0.5超え～1.0以下</td><td>※150～250</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用及び建築補強用モルタル樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) ・ 検査(コア抜き) [4.3.4] ※行わない ・行う 抜き取り部の補修方法 ※充填工法(モルタル樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル) [4.3.7] ・ウレタン材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] <table><tr><th>充填材料</th><th>種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シーリング材</td><td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td></tr><tr><td>・可とう性モルタル樹脂</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] シール材料 ・パテ状モルタル樹脂 ・可とう性モルタル樹脂 ※改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等で丁寧に押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	樹脂注入工法	・	・	・	・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40	樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70	・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130	樹脂注入工法	・	・	・	充填材料	種別	備考	・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性モルタル樹脂	・	・	4-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事	2 ひび割れ部改修工法	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで 改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面(コンクリート面・モルタル面) ・樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.4][4.5.2][4.5.5] <table><tr><th>注入工法の種類</th><th>ひび割れ幅(mm)</th><th>注入間隔(mm)</th><th>注入量(ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧注入法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・手動式注入法</td><td>0.2以上～0.3以下</td><td>※50～100</td><td>※40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3超え～0.5以下</td><td>※100～200</td><td>※70</td></tr><tr><td>・機械式注入法</td><td>0.5超え～1.0以下</td><td>※150～250</td><td>※130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.2] ※建築補修用及び建築補強用モルタル樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き) [4.3.4][4.5.5] ※行わない ・行う 抜き取り部の補修方法 ※充填工法(モルタル樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル) [4.3.7] ・ウレタン材充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5][4.5.6] <table><tr><th>充填材料</th><th>種別</th><th>備考</th></tr><tr><td>・シーリング材</td><td>※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材</td><td>ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う</td></tr><tr><td>・可とう性モルタル樹脂</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・シール工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.6] シール材料 ・パテ状モルタル樹脂 ・可とう性モルタル樹脂 ※改修標準4.3.6(b)(3)を「プライマーを塗布したのち、シール材をパテへら等で丁寧に押し込み、周囲と平滑に仕上げる。」と読み替える。	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130	樹脂注入工法	・	・	・	・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40	樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70	・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130	樹脂注入工法	・	・	・	充填材料	種別	備考	・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う	・可とう性モルタル樹脂	・	・	3																																																																																													
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																											
※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70																																																																																																																																																																											
・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
充填材料	種別	備考																																																																																																																																																																												
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																												
・可とう性モルタル樹脂	・	・																																																																																																																																																																												
注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																																																																											
※自動式低圧注入法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
・手動式注入法	0.2以上～0.3以下	※50～100	※40																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	※100～200	※70																																																																																																																																																																											
・機械式注入法	0.5超え～1.0以下	※150～250	※130																																																																																																																																																																											
樹脂注入工法	・	・	・																																																																																																																																																																											
充填材料	種別	備考																																																																																																																																																																												
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・行う																																																																																																																																																																												
・可とう性モルタル樹脂	・	・																																																																																																																																																																												

5

17

ガラス

・熱線反射板ガラス

品 質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調査
※熱線反射ガラス	※内面 ・ 外面	・フロート板ガラス	※行わない
・高性能熱線反射ガラス	・内面	・熱線吸収フロート板ガラス	・行う
		・強化ガラス	
		・倍強度ガラス	

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色 調
※フロート倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・

18

ガラス留め材

[5.13.2][表3.7.1]

建具の種類	種 類
アルミニウム製	・シーリング材 ※ガラスサッシ(FIX部はシーリング材)
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

19

ガラスブロック積み

ガラスブロック

[5.13.5]

寸 法 (mm)	表 面 形 状	性 能 等			
呼び寸法	厚さ	色 調	パターンの	防火性能	耐火性能
		※クリア		※無し	※無し
		・		・	・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	・ 標仕16.2.3の7mm鋼製建具の材料による
・	・

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・

シーリング材料

下表以外は改修標仕表3.7.1による	[5.13.5][3.7.2][表3.7.1]
被着体の組合せ	シーリング材の種類
	記号 主成分による区分 耐久性による区分

名 称	種 類	張 り 面	性 能 値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・ 外張り	飛散防止率 95%以上
・			

品質 JIS A 5759による

20

ガラス用フィルム

⑥

①

基本要品質

[6.1.2]

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料及び接着剤の材料の性能はF☆☆☆☆を基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承認を受けること。

2

改修範囲

①

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

[6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

②

図示の範囲

③

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

[6.1.3]

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

④

図示の範囲

⑤

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

[6.1.3]

※既存のまま

⑥

図示の範囲

3

施工数量調査

[1.5.2]

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承認を得て施工する。
・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、モルタル、タイル、プラスチックボード等の面調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。
モルタル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠陥部分(モルタル目地を含む。)を調査する。
仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。
① 工法による床・壁・天井改修箇所の下地材調査内容
既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。
天井下地組の強度、腐朽状況を調査する。
② 改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)調査内容
建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。
③ 設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。
④ 造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

④

既存床の撤去及び下地補修

[6.2.2]

① 床シート等の撤去

※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・下地モルタルとも(※図示の範囲)
・行わない(※図示の範囲)

・合成樹脂塗床の材の除去工法

[6.2.2]

・機械的除去工法
※目荒工法

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

[6.2.2]

⑤

既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2][4.4.9]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※図示
・ [4.4.9]モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。
・ 図示

6

⑥

木下地等

表面仕上げ

[6.5.1]

適 用 箇 所	機械加工による仕上げの程度
	① A種 ・ B種 ・ C種

代用樹種

[6.5.2][表6.5.4]

・改修標仕表6.5.4によるほか、樹種のうち杉は、県産材を使用する。
・代用樹種を適用しない箇所 ()

[6.5.2]

品 名	規格・品質	心材の樹種	化粧単板の樹種
・造作用集成材	※1等 ・ 2等	・	・
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・ 2等	・	・
・化粧ばり構造用集成材	※1等 ・ 2等	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

防腐処理 ※行う(適用範囲 ※改修標仕6.5.5(a)による ・ 図示)

[6.5.5]

防蟻処理 ・ 行う(適用範囲)

[6.5.5]

防腐・防蟻剤は、カビ・腐朽等を含まない非有機系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所にに対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

⑨

軽量鉄骨天井下地

[6.6.3][表6.6.2]

屋外の場合の形式及び寸法

※下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔 (mm)	施 工 箇 所	
野縁受、吊りボルト、インサート		
中央部	周辺部	野 縁

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

既存の埋込インサート ・ 使用する ・ 使用しない

[6.6.4]

あと施工7か所の引抜き試験 ・ 行う ・ 行わない

[6.6.4]

屋外の場合の試験

荷重 ・ 400N ・

箇所数 ・ 当該階において3箇所程度 ・ 図示

ふところが3mを超える場合の補強 ※図示 ・

[6.6.4]

屋外の天井の補強 ※図示 ・ 改修標仕6.6.4(k)による

[6.6.4]

[6.8.2]

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)
※発泡層のないもの	※ F S ・	※無地 ・ マーブル柄	※2.8
・発泡層のあるもの		※柄物 ・ 無地	
・			

工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所)

[6.8.3]

11

ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考
※コンポジットビニル床タイル	K T	※2.0	
・単層ビニル床タイル	T T	・	
・複層ビニル床タイル	F T	・	
・置敷きビニル床タイル	F O A	・	
・薄型置敷きビニル床タイル	F O B	・	

[6.8.2]

種 類	厚 さ (mm)	性 能
・コンポジットビニル床タイル	※2.0 ・	体積抵抗値 (JIS K 6911による) 1.0×10 ⁹ Ω以下、又は、
・複層ビニル床タイル	※4.0又は4.5	
・	・	漏洩抵抗値 (JIS A 1454による) 1.0×10 ¹⁰ Ω未満
・	・	

視覚障害者用タイル

[6.8.2]

適用箇所	種 類	寸 法 (mm)	形 状
屋 内	・塩化ビニル系	※300×300 ・	ブロッカーターン
	・レジンコンクリート系	※300×300 ・	JIS T 9251
	・磁器又はせっ器タイル	・	による
屋 外	・コンクリート系	※300×300×60 ・ 300×300×30	
	・磁器又はせっ器タイル	・	

高さ (mm) ・ 60 ・ 75 ※100

[6.8.2]

⑭

ビニル幅木

15

カーペット敷き

・織じゅうたん

[6.9.2][6.9.3][表6.9.1]

種 別	織 り 方	パ ー ル 形状	帯 電 性	色 ・ 柄等
・ A 種	・ウィルトカーペット	・カットパイル	人体帯電圧 ※3kV以下	※単一色(無地)
・ B 種	・ダブ・ル・フェースカーペット	・ループパイル		・柄物(標準品)
・ C 種	・フェミニンカーペット	・カット・ループ併用	・	

⑥

⑬

カーペット敷き

・タフテッドカーペット

[6.9.3][6.9.4][表6.9.2]

パ ー ル 形状	パ ー ル 長 (mm)	工 法	帯 電 性
・カットパイル	※5.0～7.0 ・	※全面接着工法	人体帯電圧 ※3kV以下
・マルチレベル	※4.0～6.0 ・	・グリッド工法	・
・レベルパイル	※4.0		
・カット・ループ併用	・		

・タイルカーペット

[6.9.3]

種 別	パ ー ル 形状	電気抵抗値 (Ω)	施 工 箇 所
※第一種	※ループパイル	※適用しない	
・	・カットパイル	・10 ⁹ Ω以下	

[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン樹脂塗床材	※平滑仕上 ・ 防滑仕上 ・ つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・ 防滑) ・薄膜型塗床

[6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.5][6.11.6][表6.11.1～表6.11.4]

品 名	樹 種	等 級	板 厚	工 法	仕上塗装
・フローリングボード1等	・なら	・1等	※15	・釘留め工法	・塗装品
	・	・	・	・接着工法	・無塗装品
・フローリングブロック1等	・なら	・1等	※15	・モルタル埋込工法	・
	・	・	・	・接着工法	・
・天然木化粧複合フローリング	・	※C種	・	※釘留め工法	※塗装品
	・	・	・	・接着工法	・塗装品
・複合フローリング (大型積層型式)	・かば	※18	※のりくぎ併用	・ビス留め	※無塗装品
	・	・	・		

[6.12.2][表6.5.10][表6.12.1]

適 用 箇 所	量 の 種 別
改修標仕表6.5.10による床組	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (※KT-Ⅲ ・)
ポリスチレンフォーム床下地	・ C 種 ・ D 種 (※KT-Ⅲ ・)

[6.13.2][表6.13.1]

種 類	JISの記号	厚さ (mm) ・ 規格等
・硬質木毛セメント板	H W	・15 ・ 20 ・ 25
・普通木毛セメント板	N W	・15 ・ 20 ・ 25
・けい酸カルシウム板	O . 8 F K	タテ2 (無石綿)
① ロックウール化粧吸音板	D R	※フラットタイプ (※9.0 ・ 12.0 ・) ・凹凸タイプ (・ 12.0 ・ 15.0) ((個)不燃)
② せっこうボード	G B - R	・9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃)
・不燃積層せっこうボード	G B - N C	9.5 (不燃) 化粧無(下地張り用) 化粧有(ほか・チン様様)
・シーリングせっこうボード	G B - S	・9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)
・強化せっこうボード	G B - F	・12.5 (不燃) ・ 21 (2重張り)
・難燃合板		
・		

軽量鉄骨下地ボード 遮音壁の遮音シム材

[6.13.2]

※適用する ・ 適用しない
・せっこうボードの継目処理

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	施工箇所
・継目処理工法	※テーパ ・	
・突付け工法	・ベベル ・ スクエア	
・目透かし工法	・ベベル ・ スクエア	

[表6.13.1]

種 類	記 号	厚さ (mm)
・ロックウール吸音ボード1号	R W - B	※25 ・
※グラスウール吸音ボード32K	G W - B	※25 ・

[6.14.2]

施工箇所	壁 紙 の 種 類	防火性能の級別	備 考
	紙製 織物 ビニル 化学繊維 無機質		
	・ ・ ・ ・ ・	※不燃・準不燃・難燃	
	・ ・ ・ ・ ・	※不燃・準不燃・難燃	
	・ ・ ・ ・ ・	※不燃・準不燃・難燃	

モルタル、プラスチック面等の下地調整

[6.14.3][7.2.5][7.2.6][表7.2.4][表7.2.5]

※RB種 ・ RA種 (施工箇所：)

せっこうボード面の下地調整

[6.14.3][7.2.7][表7.2.7]

※RB種 ・ RA種 (施工箇所：)

既製目地材 ※適用しない ・ 適用する (形状は図示による)

[6.15.3]

タイルの種類

[6.16.3]

施工場所・用途	形状寸法 (mm)	耐凍害性	うわぐすり	役 物	色	備 考
		あり なし	施 無 施	あり なし	標準 特注	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	

タイルの試験張り ※行わない ・ 行う

[6.16.3]

タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う

[6.16.3]

壁紙張りの工法

[6.15.5][表6.16.4][表6.16.6]

6

⑥

⑭

黒板及びホワイトボード

⑥

⑭

黒板及びホワイトボード

[20.2.2]

施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能 (注1)	表面仕上げ材 (注2)
	・パネル構法	・	※50mm	・1.0G ・0.6G	・帯電防止床タイル ・タイルシート
	・パネル構法	・	※50未満	・1.0G ・0.6G	・帯電防止床タイル ・タイルシート

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型フリーボードの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、13 帯電防止床タイル張り、16 かべつ敷きに よる。

ボード及びボード

※製造所の標準仕様(ただし、構成材は標仕20.2.2(b)(2)による)
・ 図示

コメント等の取付け対応

仕様 ※製造所の標準仕様(コメント本数は別途設備工事)
コメントの箇所数 ※10～15㎡に1箇所程度

配線取出しパネル

フリーボード全体面積に対する設置割合 ※20～30%
配線取り出し開口 ※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しパネル

※無し
・ 有り(※固定式 ・ 可動式 施工箇所は図示)

[20.2.3]

構造形式	パネルの総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	仕 上 げ	遮 音 性 (JISによる記号)
※パネル式 ・スクリーン式 ・スクリーンパネル式	・	※鋼板 (※0.6 ・ 0.8)	※樹脂樹脂又は アクリル樹脂焼き付け	・ 有り

不燃材料の認定 ・ 有り

[20.2.4]

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・ 電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ(注1)		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式 ・ 電動式 ・部分電動式

注1：JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
表面仕上げの壁紙張りの品質 22壁紙張りによる。
パネル圧接装置操作方法 ※製造所標準仕様 ・

27

トイレブース

表面仕上げ材

・樹脂樹脂系化粧板(標準色 7mm製コーナーエッジ付き)

[20.2.5]

・ポリエーテル樹脂系化粧板(標準色 7mm製コーナーエッジ付き)

脚部(ステンレス製) ※幅木タイプ ・ 支柱タイプ
ドエッジ ・ フラット形 ※曲面形

28

階段滑止め

材 種

※ステンレス(SUS304) ・ 7mm

[20.2.6]

形 状

※ビニルシート入り
両端フラット
※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・ 無し
・ビニルシート無し
幅 (mm) ・ 50 ・ 65 ・ 75 ・
取付け工法 ※接着工法 ・ 埋込み工法

29

階段手すり

種 類	施工箇所
※集成材加工加工仕上げ(市販品 径 約45mm又は約60mm)	
・ビニル製ハンドレール(幅 約50mm)	
・	

[20.2.8]

種 類	寸法 (mm)	備 考
・黒板	焼付け	※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
※ホワイトボード	ほうろう	※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分

[20.2.10]

材 種	寸法 (mm)	突出型	面付型	文字形式	受 金 具
※塩化ビニル製	※260×80×5	ヶ所	ヶ所	・文字書込み	※ステンレス(SUS304)
・アクリル樹脂製	・	ヶ所	ヶ所	・文字彫込み	・
・県産杉板材	※260×80×12	ヶ所	ヶ所	・カーテンシート	

・既存再使用する(養生方法：)

[2.3.1][5.1.6]

・新設する

[20.2.12]

形 式	種 類	スリットの材質	スリットの幅 (mm)
※横形	※ギア式 ・ コード式	※7mm鋼合金	※25
・縦形	・操作棒式 ・1本操作コード ※2本操作コード	・7mmスリット ・ガラススリット	・ 80 ・ 100

[5.1.6]

33

ブラインドボックス及びカーテンボックス

・既存再使用する

[5.1.6]

・新設する

※市販品(7mm鋼製 押出し型材)

使用区分	溝幅×深さ (mm)
・横形ブラインド	※90×150 ・ 120×150 ・
・縦形ブラインド	※120×80 ・ 150×80 ・
・カーテン(又はレース共)	※150×80 ・ 180×80 ・
・カーテン+横形ブラインド	※180×150 ・

色彩 ・ B-1 ・ B-2 (・ブラックス ・ ブラウンス ・ ステンレス)

・ 図示

令和3年度

工事番号

建住第15号

工事名

(仮)テレワークステーションおぢや(建築)整備工事

施工場所

小千谷市 本町 地内

図面名

特記仕様書2

縮 尺

図 番

14-3

小千谷市建設課

〒947-8501小千谷市城内2丁目7番5号
TEL:0258-83-3514 FAX:0258-83-2789
E-mail:kensetsu-kij@city.ojiya.niigata.jp

内部仕上表

	名称		床		巾 木		壁・腰		天 井		廻 縁		その他	
	現況	改修	現 況	改 修	現 況	改 修	現 況	改 修	現 況	改 修	現 況	改 修	現 況	改 修
1階	風除室	スプレー モルタル塗金縷 磁器質タイル(100角) 一部誘導タイル張	モルタル塗金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)、木製框	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2) 段差解消木製スロープ	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	ガラススクリーン PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	間仕切、垂壁、腰壁、自動ドア撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	岩綿吸音板(t=9)	岩綿吸音板(t=9)張替	塩ビ	塩ビ 取替	施設名、模様カッティングシート 自動ドア（Ｂ－４・５通り間）	同左撤去処分、清掃 同左撤去処分
	スペース ベース	グリーン コンクリート コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)、木製框	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2) 木製框撤去	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 腰(H=970)：松柱目突板合板(t=5.5)目透張 オスモ塗	間仕切、垂壁、腰壁撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来天井撤去(別途工事にて室内機撤去) PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	塩ビ	塩ビ 取替	施設名、模様カッティングシート 勾配調整モルタル塗、防滑塩ビシート	同左撤去処分、撤去跡クリーニング 同左撤去処分 間仕切カウンター（工場製作品）
	事務室	事務室	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2)	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 腰(H=970)：松柱目突板合板(t=5.5)目透張 オスモ塗	間仕切、垂壁、腰壁撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来天井撤去(別途工事にて室内機撤去) PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	塩ビ	塩ビ 取替		受付カウンター（工場製作品）
		更衣室①	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2)	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 腰(H=970)：松柱目突板合板(t=5.5)目透張 オスモ塗	間仕切、垂壁、腰壁撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来天井撤去(別途工事にて室内機撤去) PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	塩ビ 一部アルミ	塩ビ 取替		
		トイレ 共用 モ	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2)	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 腰(H=970)：松柱目突板合板(t=5.5)目透張 オスモ塗	間仕切、垂壁、腰壁撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来天井撤去(別途工事にて室内機撤去) PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	塩ビ 一部アルミ	塩ビ 取替		デスク天板／メラミン化粧複合板(t=25)
	乳児室	会議室用	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来フローリング上に○Ａフロア(H=50) タイルカーペット(t=6.2)	集成化粧 (H=60)	塩ビ巾木 (H=100)	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切	間仕切、垂壁、腰壁撤去 新設:LGS(65)、PB(t=12.5)、ビニルクロス 既設:ビニルクロス張替	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来天井撤去(別途工事にて室内機撤去) PB(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	塩ビ 一部アルミ	塩ビ 取替		
	旧金庫室	物置	コンクリート金縷 ビニルタイル(t=2)上にスノコ敷	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、プレースボード仕上	SUS製金庫扉撤去 同上箇所木枠(t=30)取付、UC塗装 既設：ビニルクロス張替	PB(t=9)、プレースボード仕上	在来のまま	塩ビ	在来のまま	SUS製金庫扉	同左撤去処分 同上仕上補修(ボード、クロス、木枠)
2階	交お 換む 所つ	更衣室②	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切	在来のまま	PB(t=9)、V-Emp塗	在来のまま	塩ビ	在来のまま		
	ト男 イレ 性	ト男 イレ 性	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2) 上り台(H=120)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま		温水洗浄便座新設
	ト女 イレ 性	ト女 イレ 性	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2) 上り台(H=120)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま		温水洗浄便座新設
	ト多 イ目 的	ト多 イ目 的	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)張	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	塩ビ被覆補助手摺 化粧笠木付ライニング壁	在来のまま 在来のまま 温水洗浄便座新設
	廊下	廊下	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)張	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	既設壁：ビニルクロス張替	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	防滑塩ビシート張 勾配調整板 木製フェンス扉	在来のまま 在来のまま 同左撤去、処分
	1会議 室①	イス カー ペット タイル	コンクリート金縷 カーペットタイル	カーペットタイル撤去 長尺塩ビシート(t=2.8)	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま		
	3会議 室②	イス カー ペット タイル	コンクリート金縷 カーペットタイル	カーペットタイル撤去 長尺塩ビシート(t=2.8)	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	可動間仕切壁	在来のまま
2階	軽運動場	多目的 ム	コンクリート金縷 コンパネ(t=15)下張 硬質塗装合板フローリング(t=12)	在来のまま	集成化粧 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス、化粧見切 腰(H=870)：ドイツトウヒバネリング(t=12) 本実加工張（オスモ塗）	在来のまま（化粧見切破損箇所補修）	化粧石膏ボード(t=9)、岩綿吸音板(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	ステンレスC型カーテンレール直付 集成手摺2段	
	ト男 イレ 性	ト男 イレ 性	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま		温水洗浄便座新設
	ト女 イレ 性	ト女 イレ 性	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま		温水洗浄便座新設
	ト多 イ目 的	ト多 イ目 的	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	塩ビ被覆補助手摺 化粧笠木付ライニング壁	在来のまま 在来のまま 温水洗浄便座新設
	廊下	廊下	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	長尺塩ビシート張替(t=2.8)	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	勾配調整モルタル 防滑塩ビシート	在来のまま 在来のまま
階段	階段	コンクリート金縷 長尺塩ビシート(t=2)	在来のまま	塩ビ巾木 (H=60)	在来のまま	PB(t=12.5)、ビニルクロス	在来のまま	化粧石膏ボード(t=9)	在来のまま	塩ビ	在来のまま	集成手摺2段		

令和3年度

工事番号

建住第15号

工事名

(仮)テレワークステーションおぢや(建築)整備工事

施工場所

小千谷市 本町 地内

図面名

仕上表

縮 尺

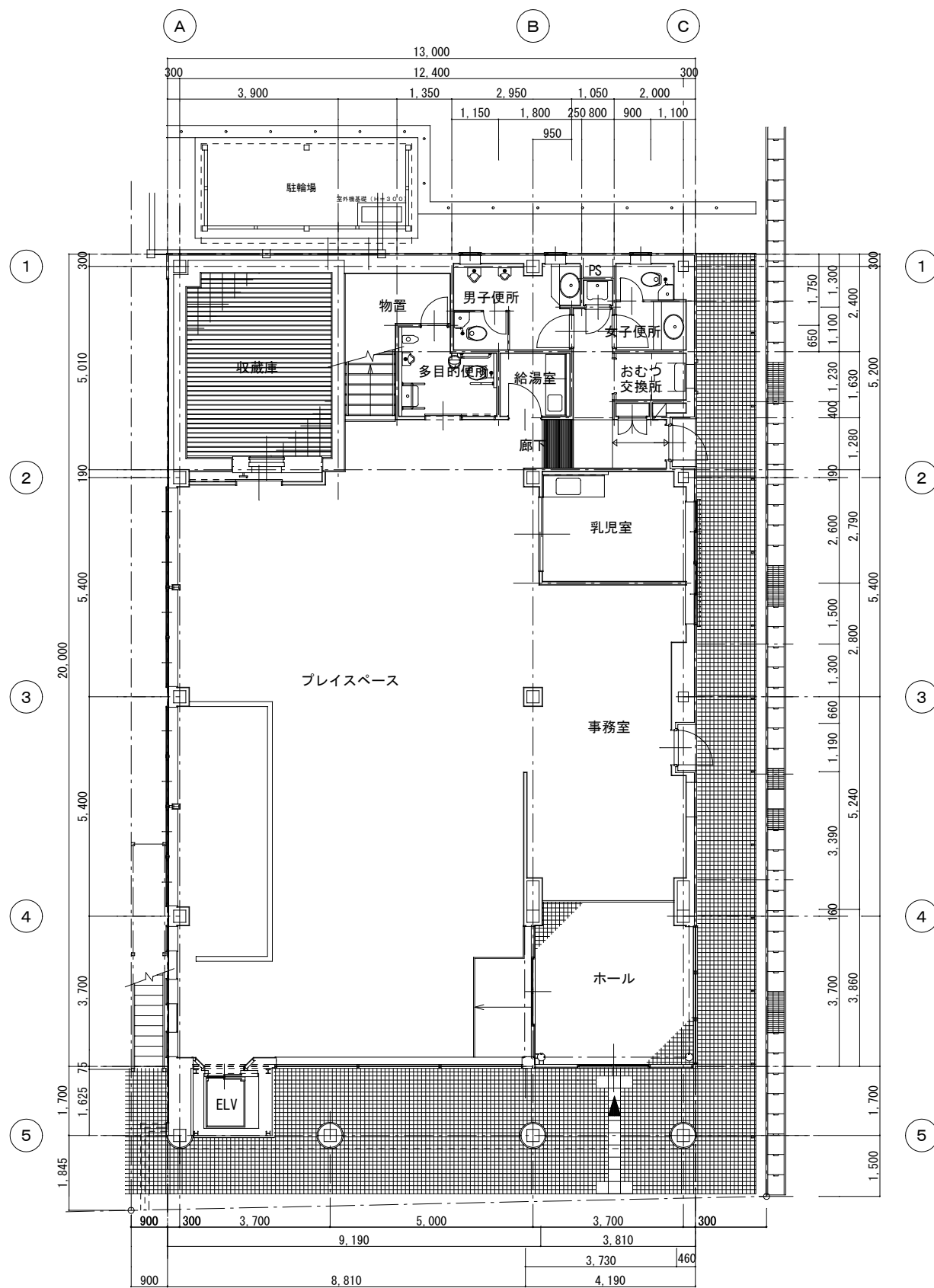
F r e e

図 番

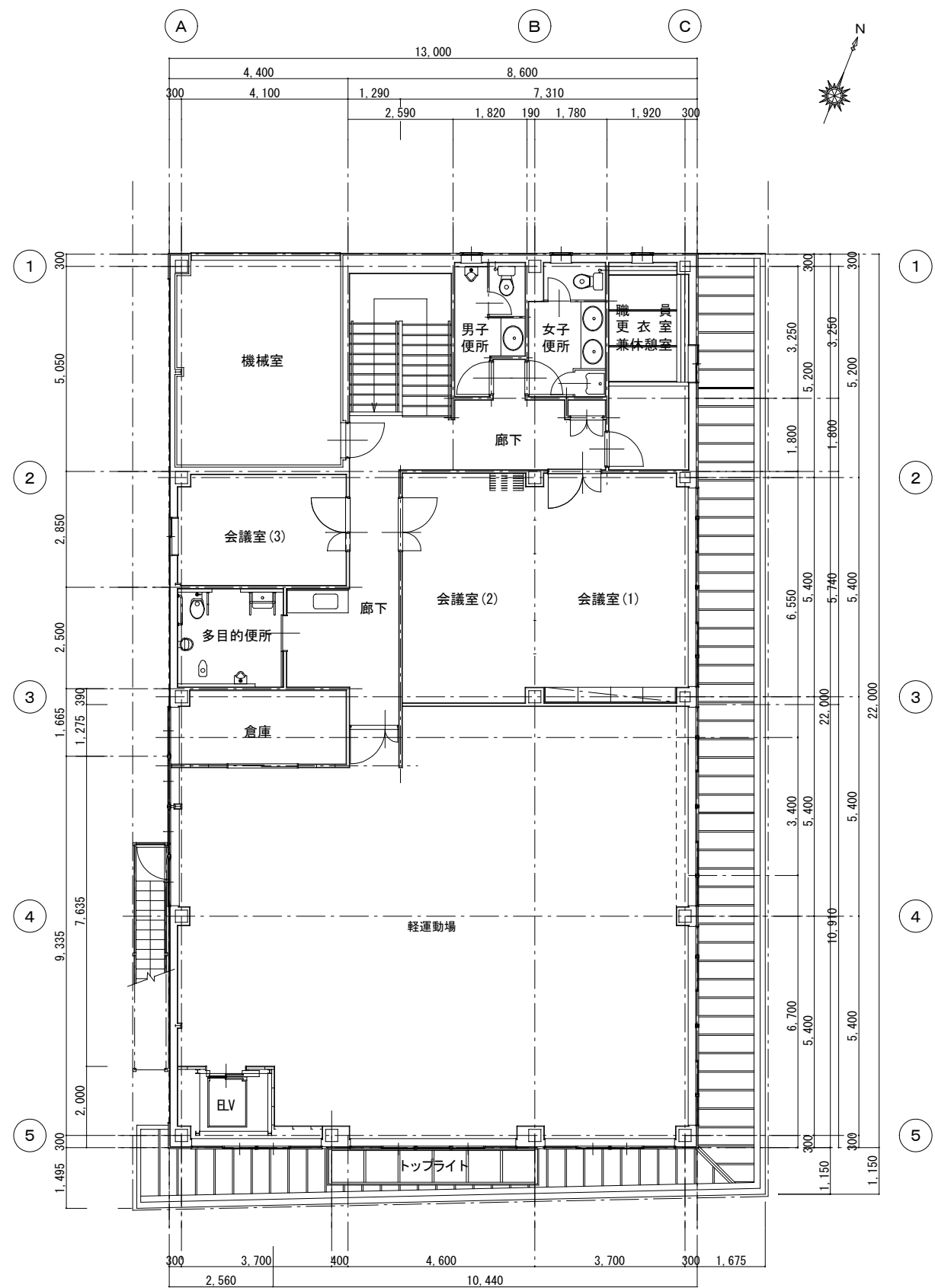
14-4

小千谷市建設課

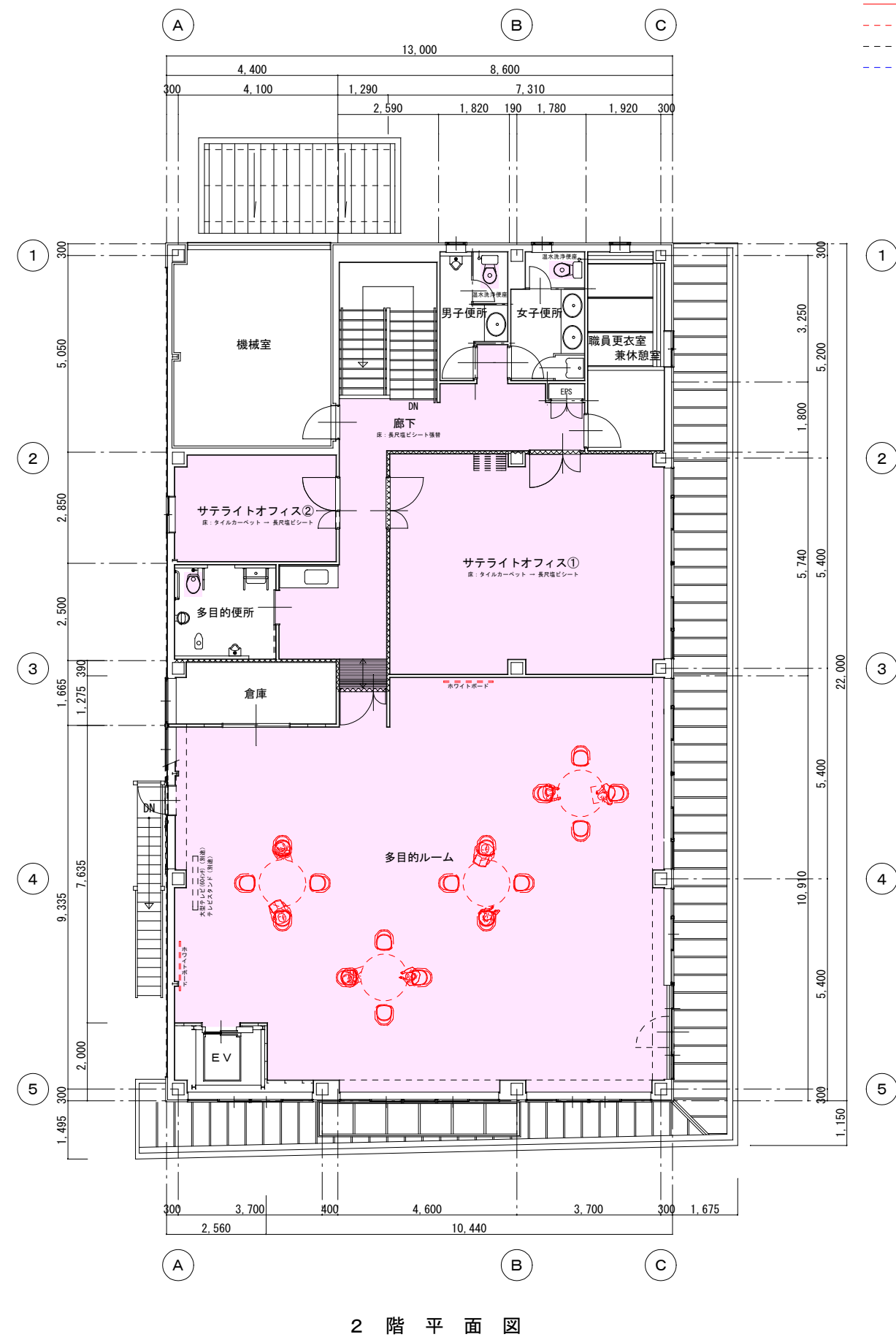
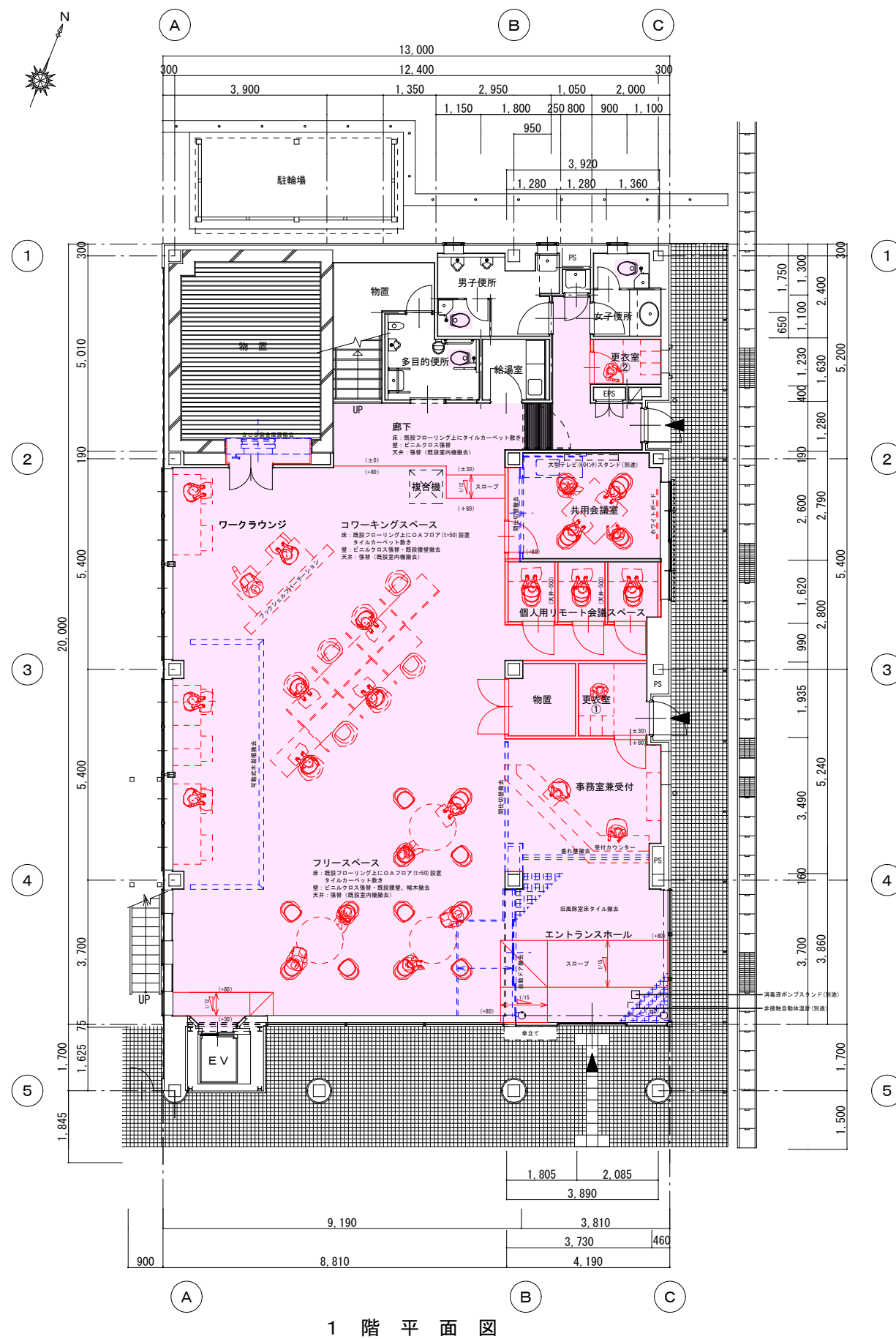
〒947-8501小千谷市城内2丁目7番5号
TEL:0258-63-3514 FAX：0258-63-2789
E-mail:kensetu-kj@city.ojiya.niigata.jp

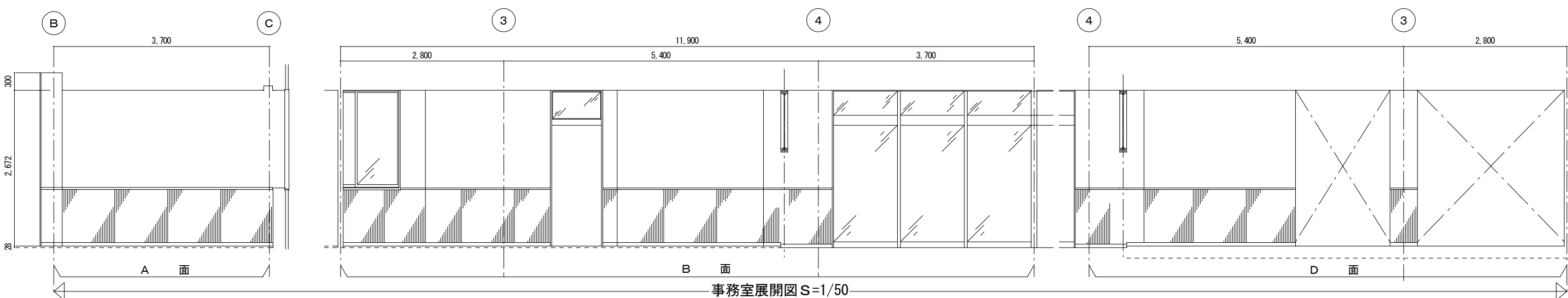
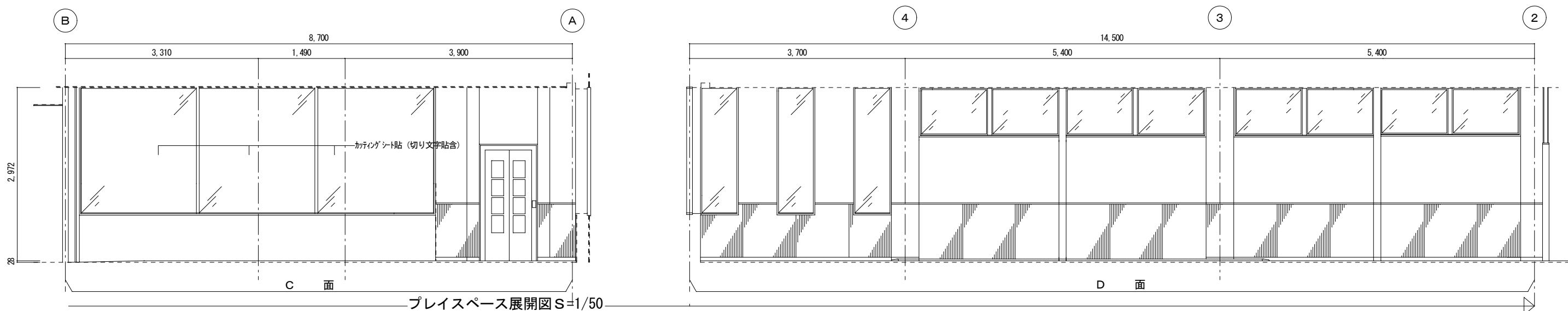
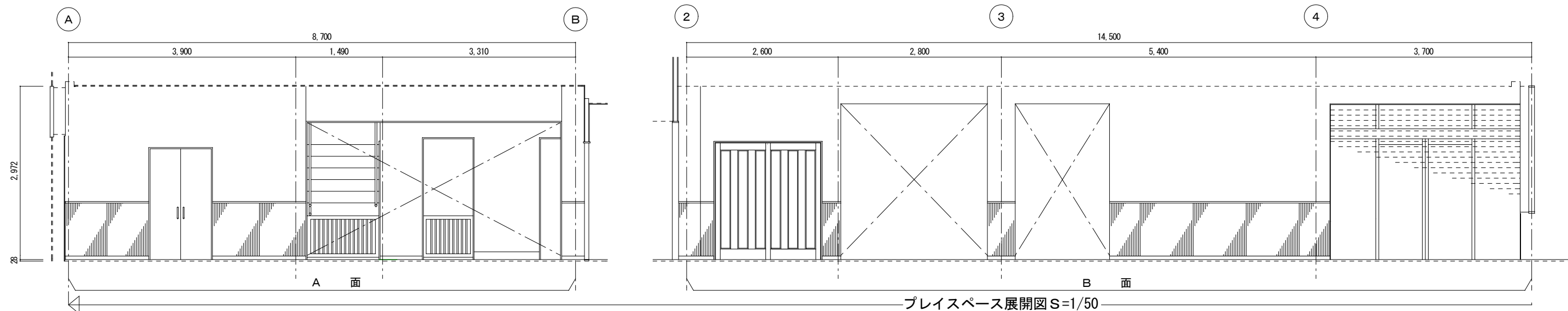


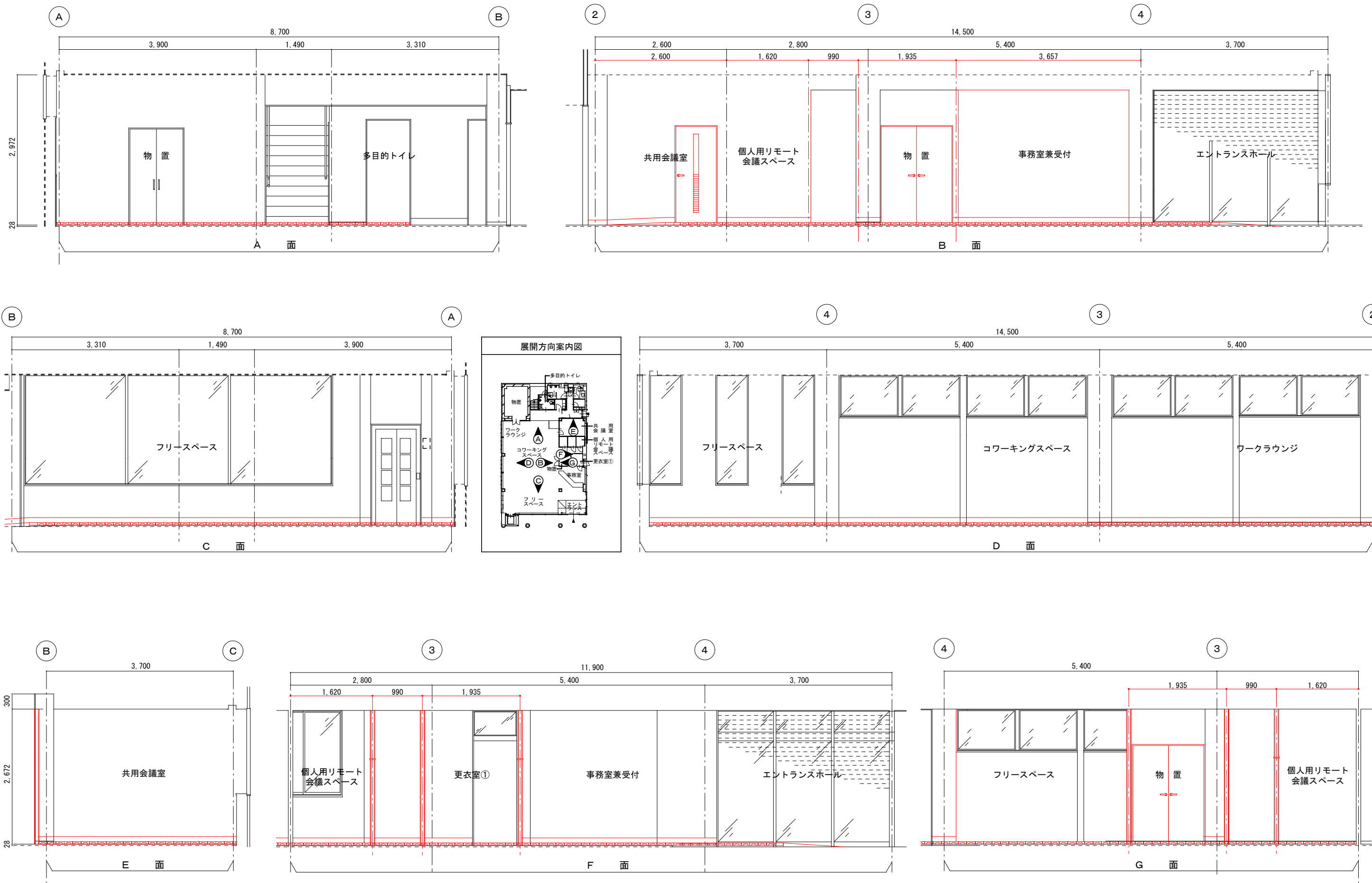
1 階 平 面 図

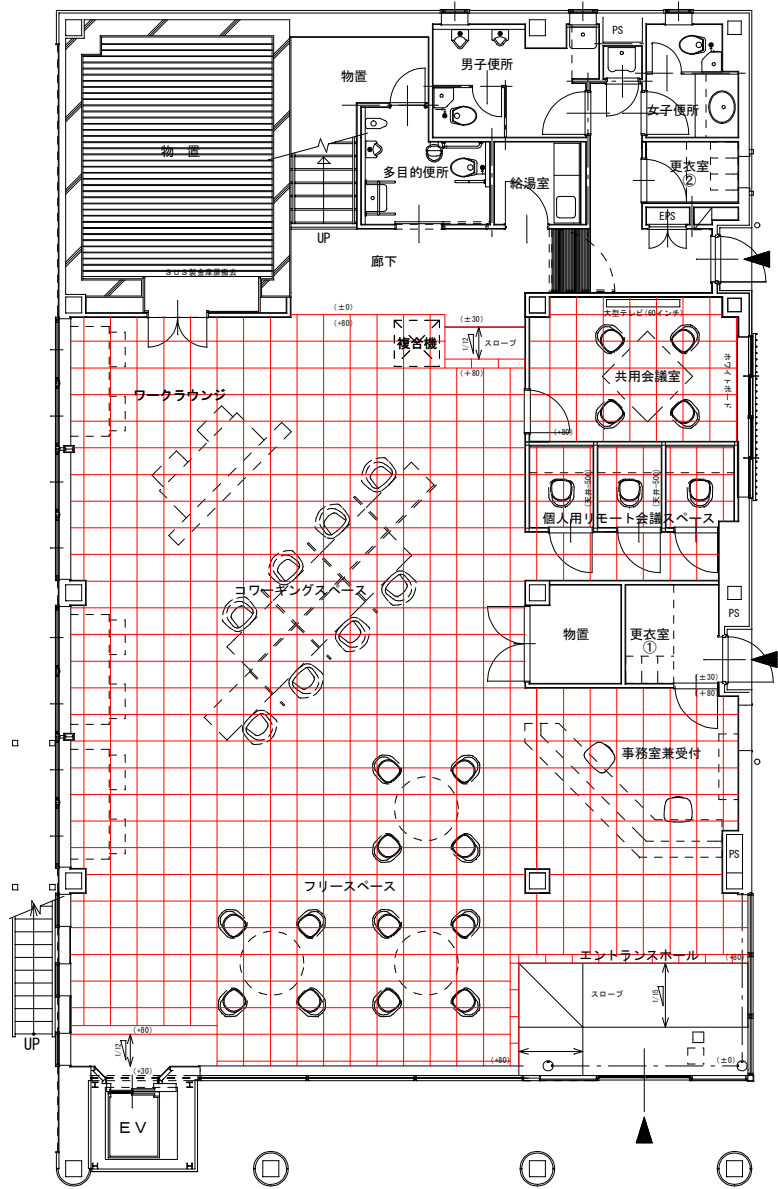


2 階 平 面 図









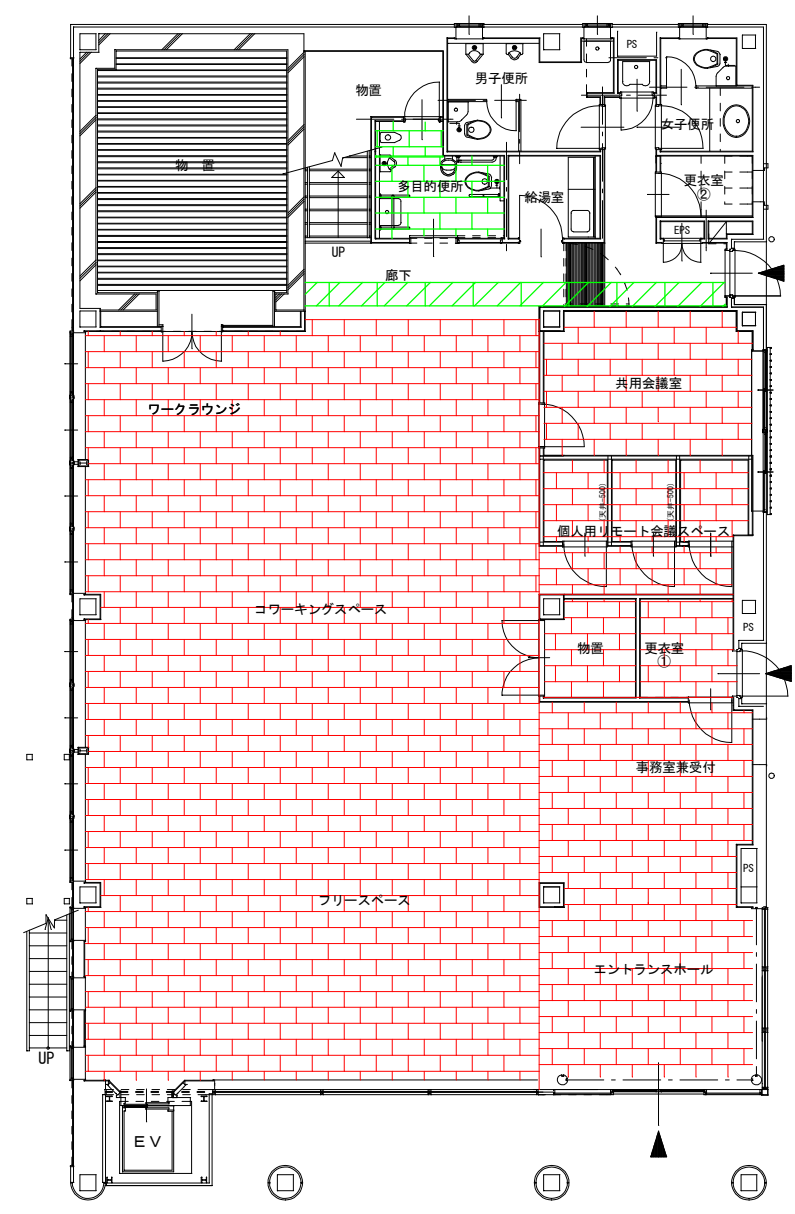
1 階 平 面 図

【凡例】

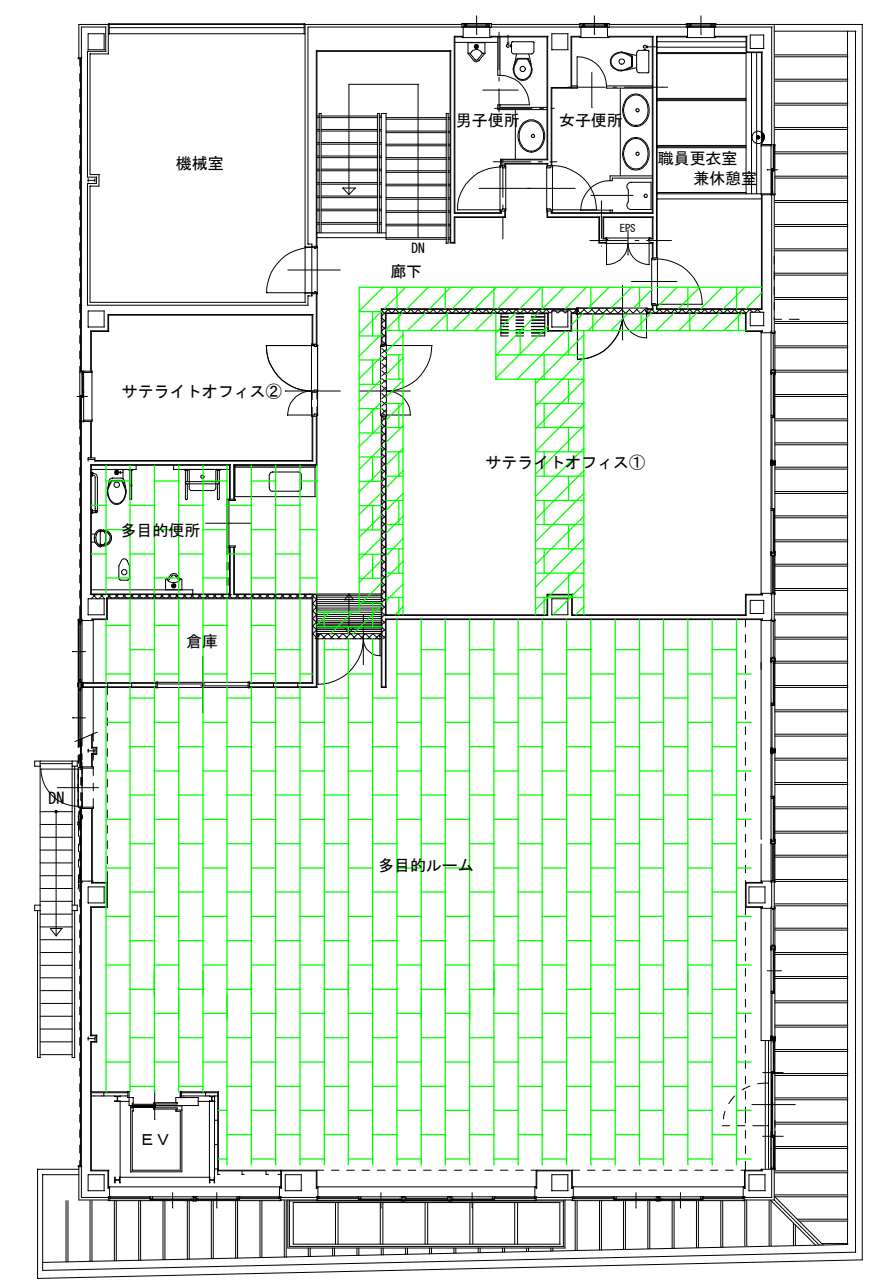
前回改修箇所

今回改修箇所

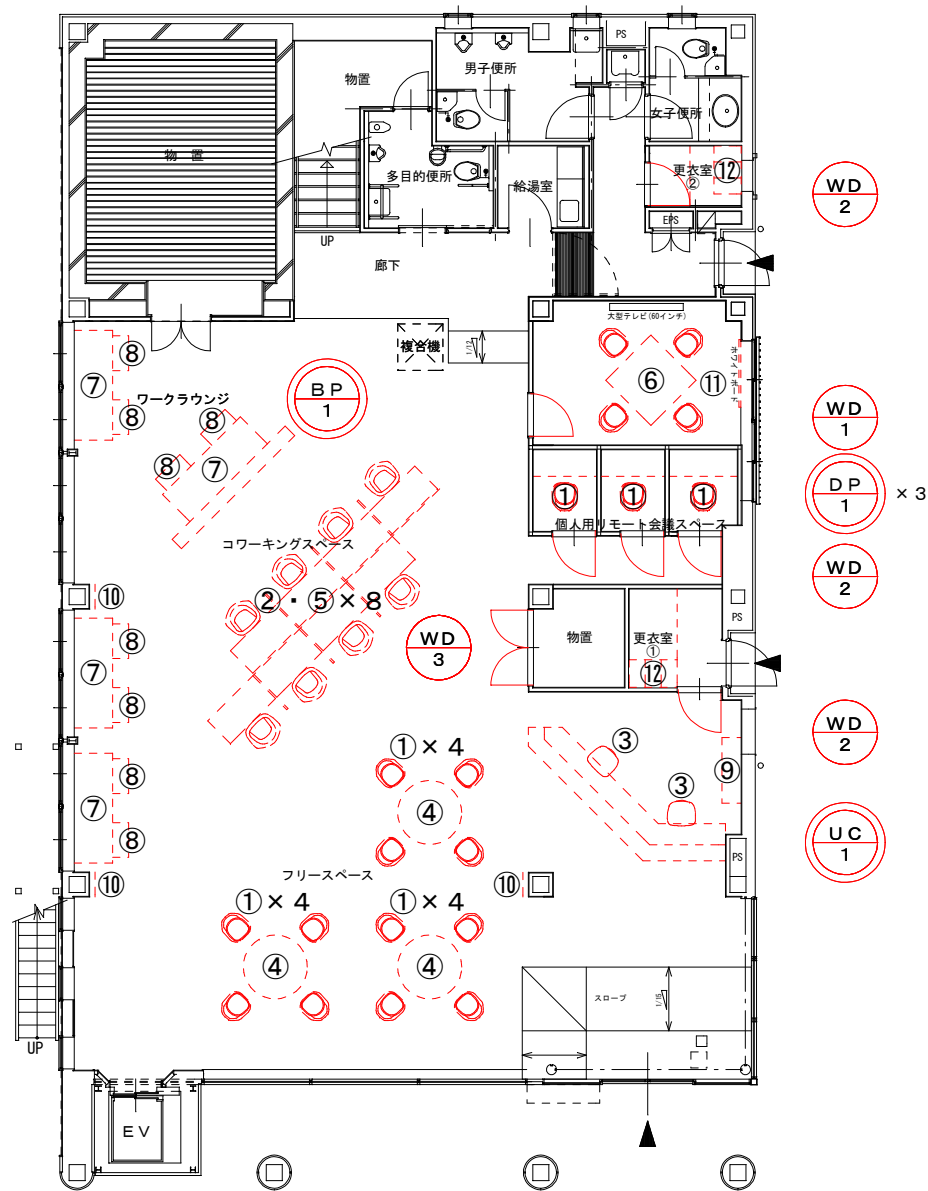
N



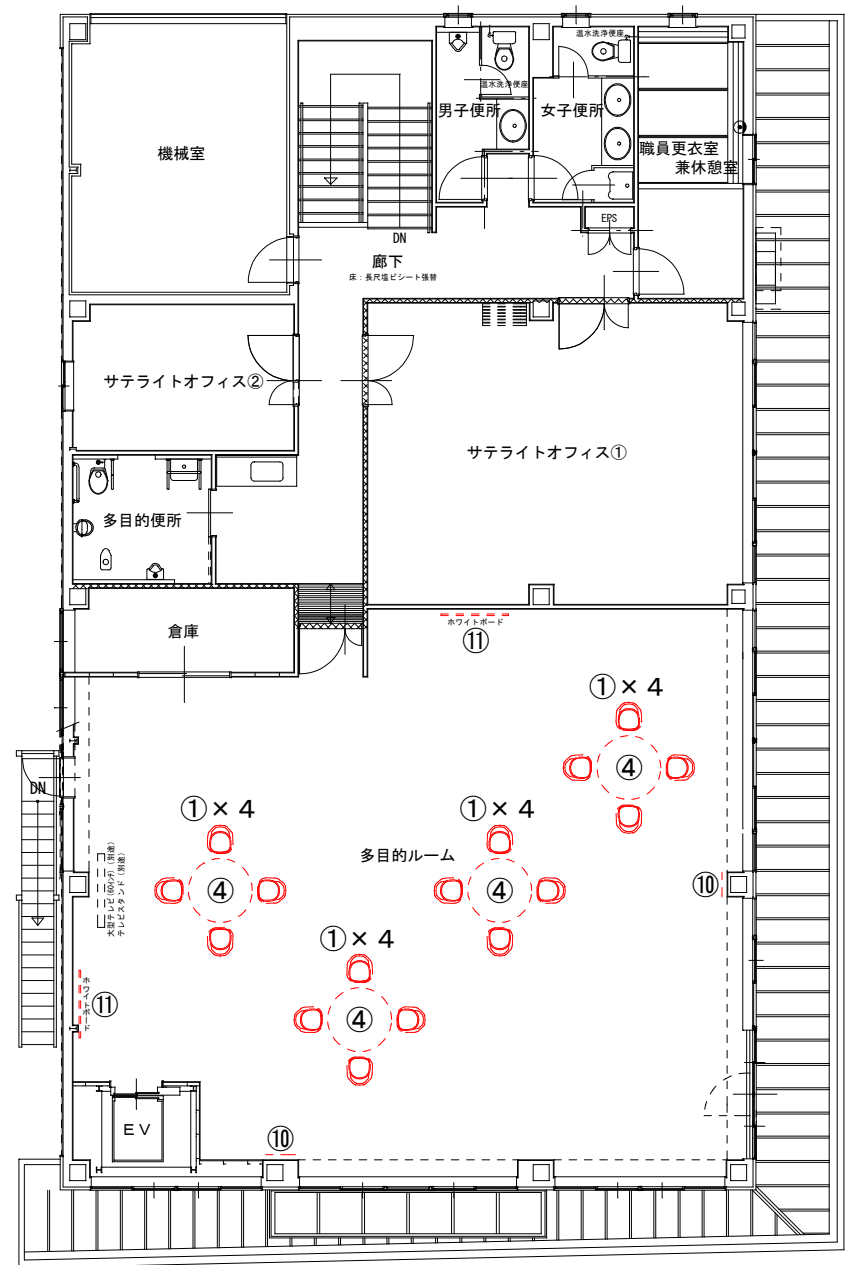
1 階 天 井 伏 図



2 階 天 井 伏 図



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図

雑工事符号表

No.	名 称	寸 法 ・ 仕 様	参考品番・名称	数量	No.	名 称	寸 法 ・ 仕 様	参考品番・名称	数量
①	シェルチェア	W465*H555*H805*SH455 本体:ポリプロピレン 脚:ブナ材、スチール	DSW (リブ ロック)	35脚	⑦	3人掛ソファ	W2030*H760*SH42	LC5 (リブ ロック)	4脚
②	アームシェルチェア	W625*H630*H805*SH460 本体:ポリプロピレン 脚:ブナ材、スチール	DSW (リブ ロック)	8脚	⑧	サイドテーブル	W650 × D300 × H605	ADR-ST003M	8脚
③	プライウッドチェア	W495*H550*H760*SH440 本体:プライウッド脚:スチール	DCM (リブ ロック)	2脚	⑨	ワイドシェルフ	W1230 × D360 × H900	CALV1 WIDE SHELF	1個
④	丸テーブル	φ1200 H740	コトラクトテーブル (リブ ロック)	7脚	⑩	コート掛	W560 × D160 × H370 本体:スチール、天然木	Hang It All (リブ ロック)	5個
⑤	コワーキングデスク	W1210*H610*H850 パソコンデスク コンセント2口付	Impara	8脚	⑪	ホワイトボード	W1285 × D628 × H1800	BB-K934W	3個
⑥	スクエアテーブル	W1200*H1200*H720	GMテーブル	1脚	⑫	更衣ロッカー (3人用)	W900 × D515 × H1790	LK-N3	2個

令和3年度

工事番号

建住第15号

工事名

(仮)テレワークステーションおぢや(建築)整備工事

施工場所

小千谷市 本町 地内

図面名

建具・家具案内図、雑工事符号表

縮尺

1/30, 1/20

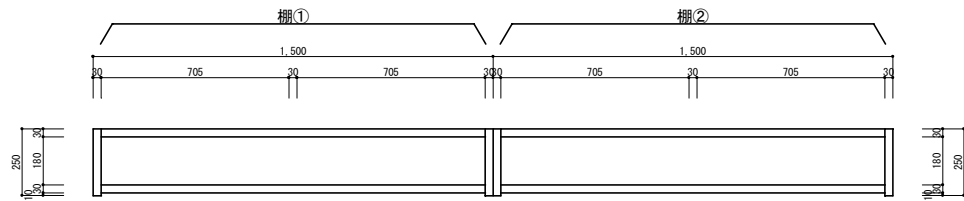
図番

14-11

小千谷市建設課

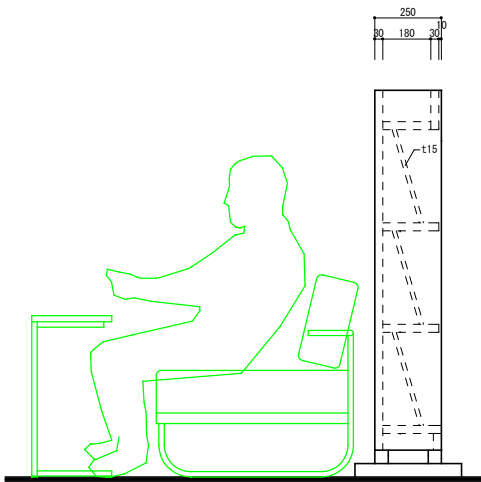
〒947-8501小千谷市城内2丁目7番5号
TEL:0258-83-3514 FAX:0258-83-2789
E-mail:kensetu-kj@city.ojiya.niigata.jp

<div>WD1</div> 片開きフラッシュ戸		S=1/30	<div>WD2</div> 片開きフラッシュ戸		S=1/30	<div>UC1</div> カウンター詳細図		S=1/20						
						カウンター平面詳細図 S=1/20								
<div>WD3</div> 両開きフラッシュ戸		S=1/30	<div>DP1</div> デスク天板		S=Free									
室名・数量		個人用リモート会議スペース・3箇所		室名・数量		更衣室①、更衣室②、共用会議室・3箇所								
材質・仕上		木製・メラミン化粧板		材質・仕上		木製・メラミン化粧板								
ガラス		樹脂パネル 3mm 透明		ガラス		樹脂パネル 3mm 透明								
付属金物		ステンレス丁番 シリンダ錠 レバーハンドル		付属金物		ステンレス丁番 シリンダ錠 レバーハンドル								
備考				備考		樹脂製ガラリ								
<div>WD3</div> 両開きフラッシュ戸		S=1/30	<div>DP1</div> デスク天板		S=Free									
室名・数量		物置・1箇所		室名・数量		個人用リモート会議スペース・3箇所								
材質・仕上		木製・メラミン化粧板		材質・仕上		木製・メラミン化粧板								
ガラス		ー		ガラス		ー								
付属金物		ステンレス丁番 シリンダ錠 レバーハンドル		付属金物		ステンレスアングル 5×40×40								
備考				備考		壁面固定								
令和3年度	工事番号	建字第15号	工事名	(仮)テレワークステーションおぢや(建築)整備工事	施工場所	小千谷市 本町 地内	図面名	建具リスト・受付カウンター詳細図	縮尺	1/30, 1/20	図番	14-12	小千谷市建設課	〒947-8501小千谷市城内2丁目7番5号 TEL:0258-83-3514 FAX: 0258-83-2789 E-mail:kensetu-kj@city.ojiya.niigata.jp

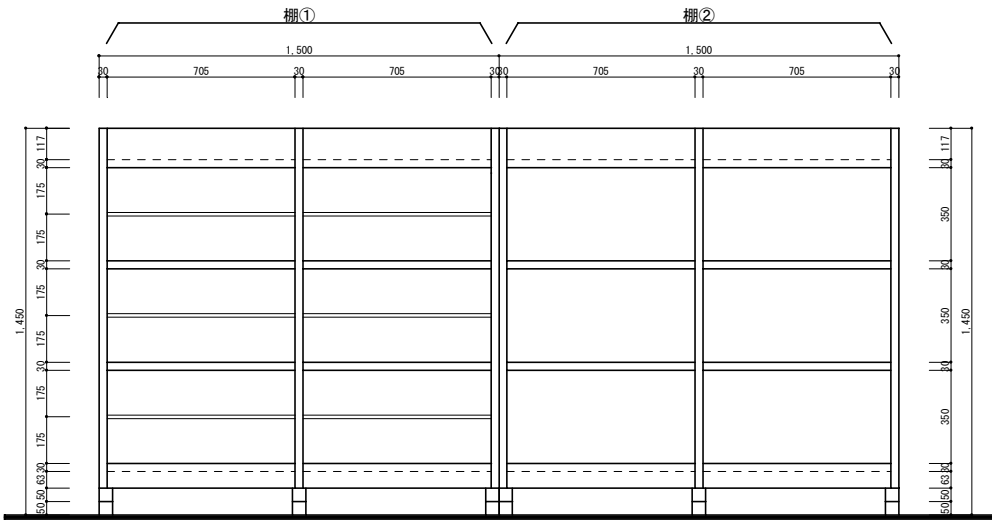


平面図 S=1/20

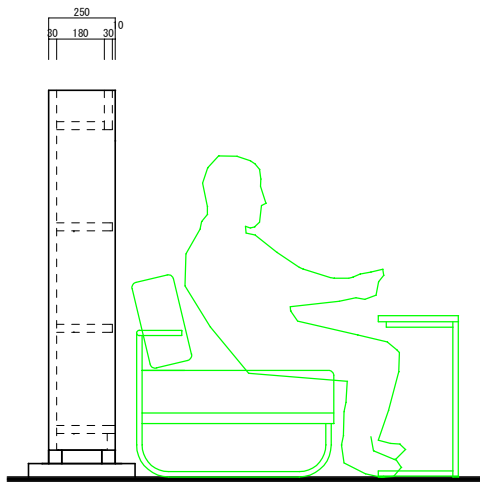
- ・自然系塗料 (NP) 仕上げ
- ・ダボ



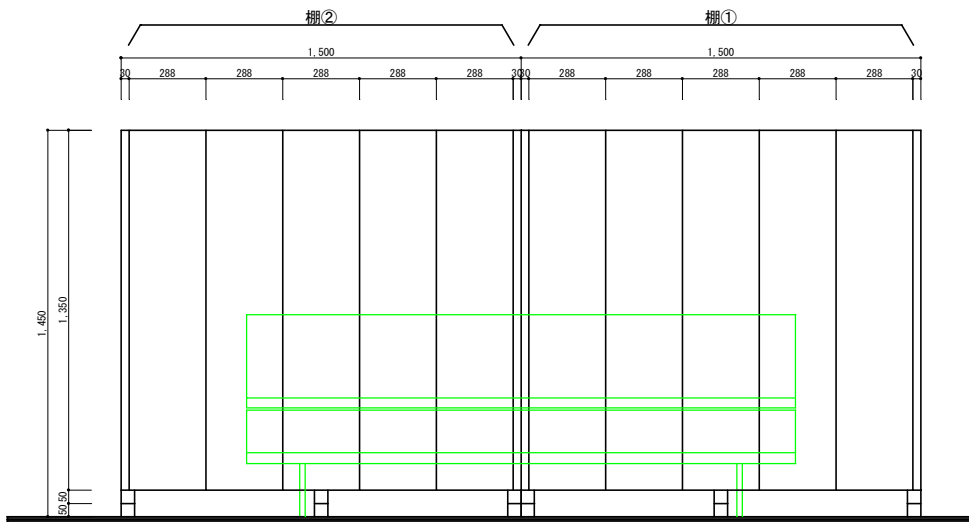
棚①立面図(側面) S=1/20



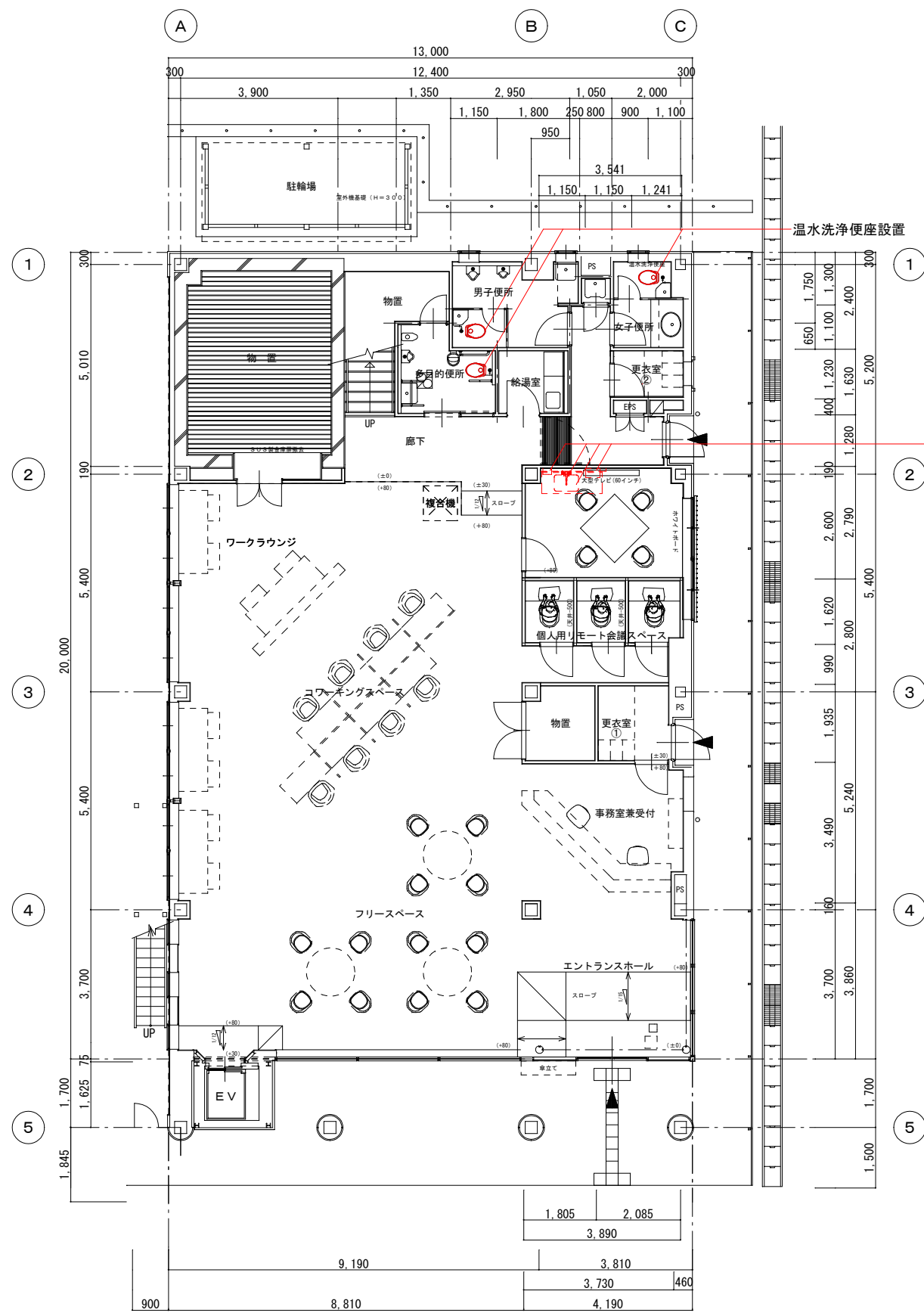
立面図(正面) S=1/20



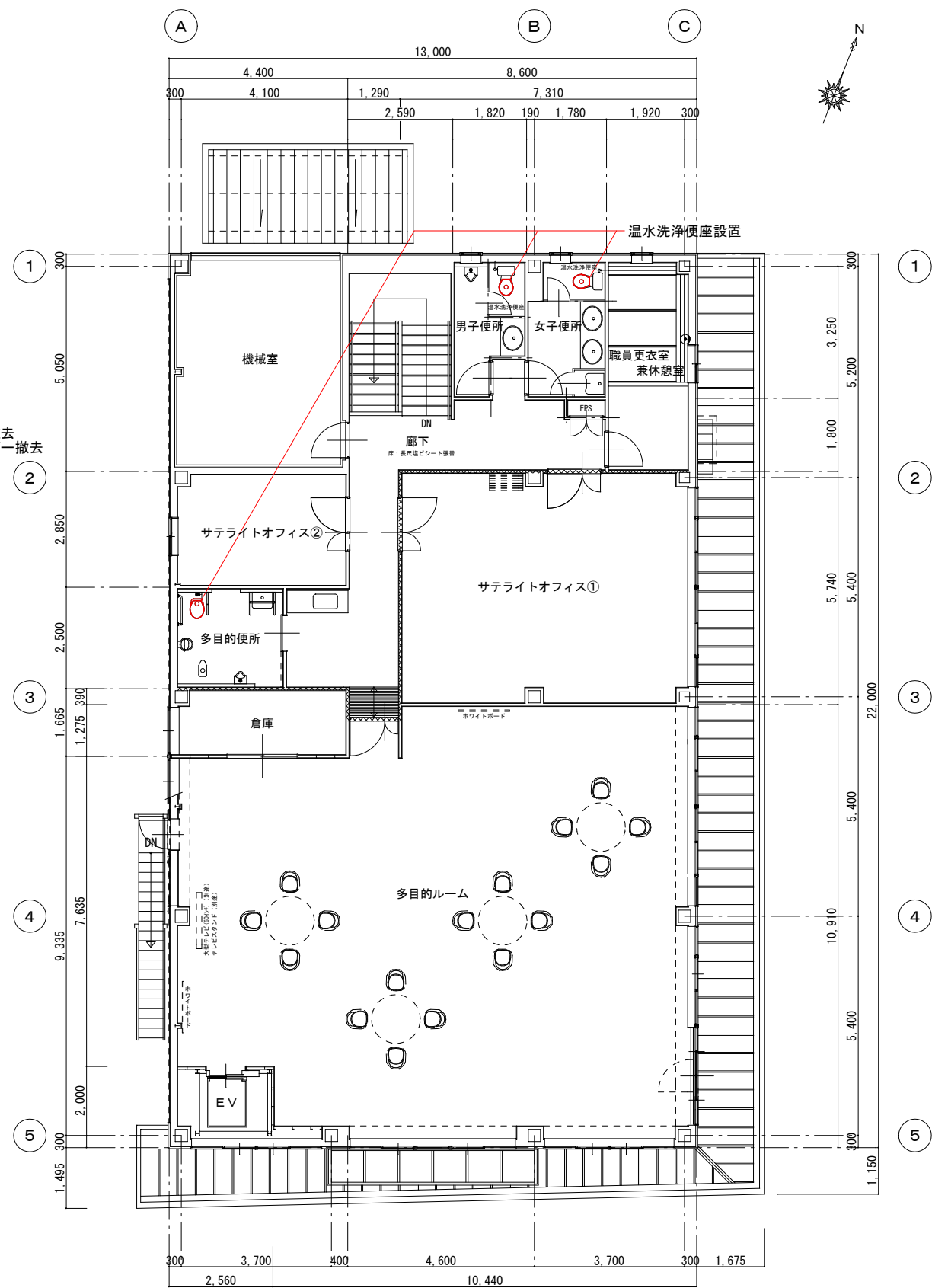
棚②立面図(側面) S=1/20



立面図(背面) S=1/20



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図